

II 調査結果の特徴

1. 児童の運動習慣と体力～1週間の総運動時間から

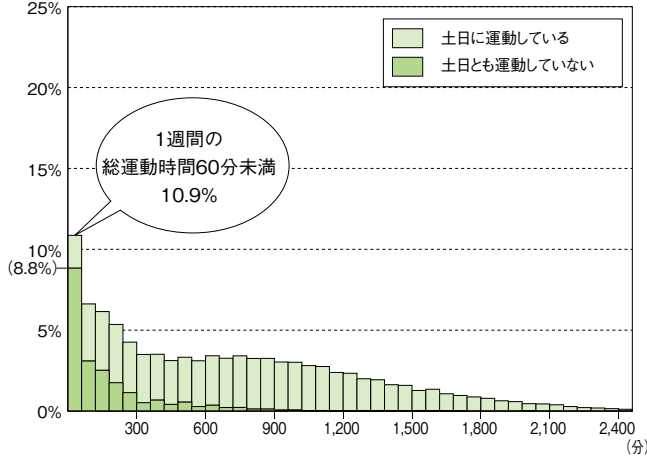
1 1週間の総運動時間の分布と土曜日、日曜日の運動状況

※「土日に運動している」は、土曜日、日曜日のいずれか、または両方で運動やスポーツをしている児童の割合。

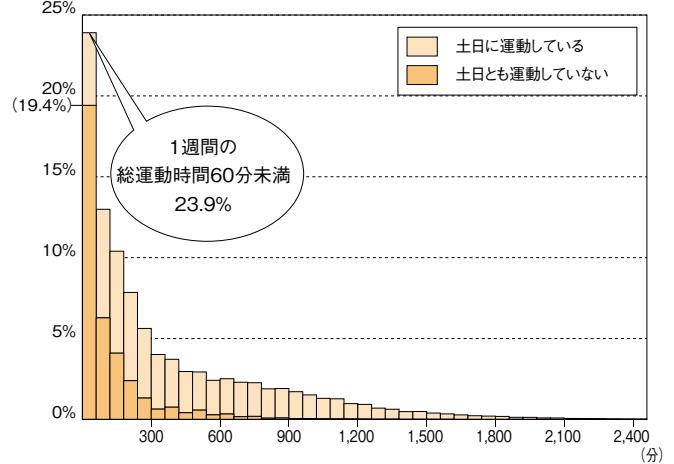
- ①1週間の総運動時間の分布は、平成20、21、22年度調査と同様、運動をほとんどしない児童が多く、女子においては顕著であった。
- ②特に、女子の1週間の総運動時間が60分未満の児童は、23.9%であった。
- ③「土日とも運動していない」1週間の総運動時間が60分未満の児童は、男子が8.8%、女子が19.4%であった。

小学校

● 男子



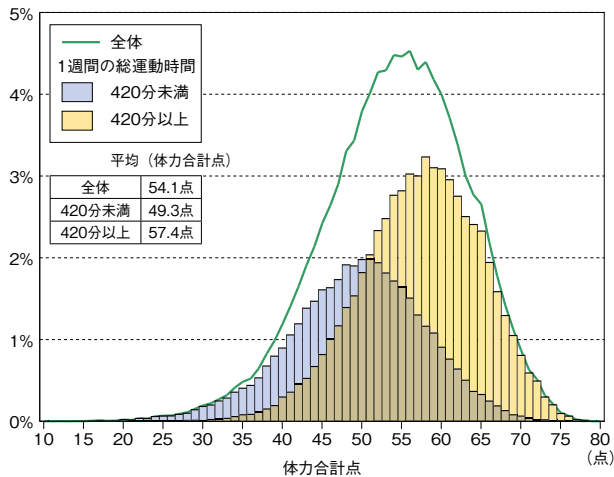
● 女子



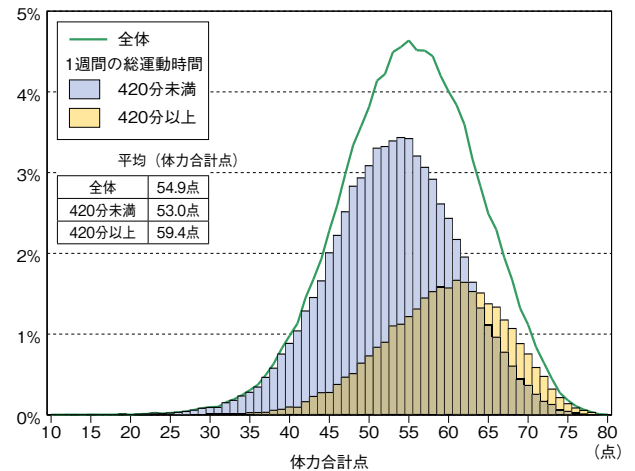
2 1週間の総運動時間と体力合計点との関連

- ①男女とも、1週間の総運動時間が長い児童の方が、体力合計点が高かった。

● 男子



● 女子

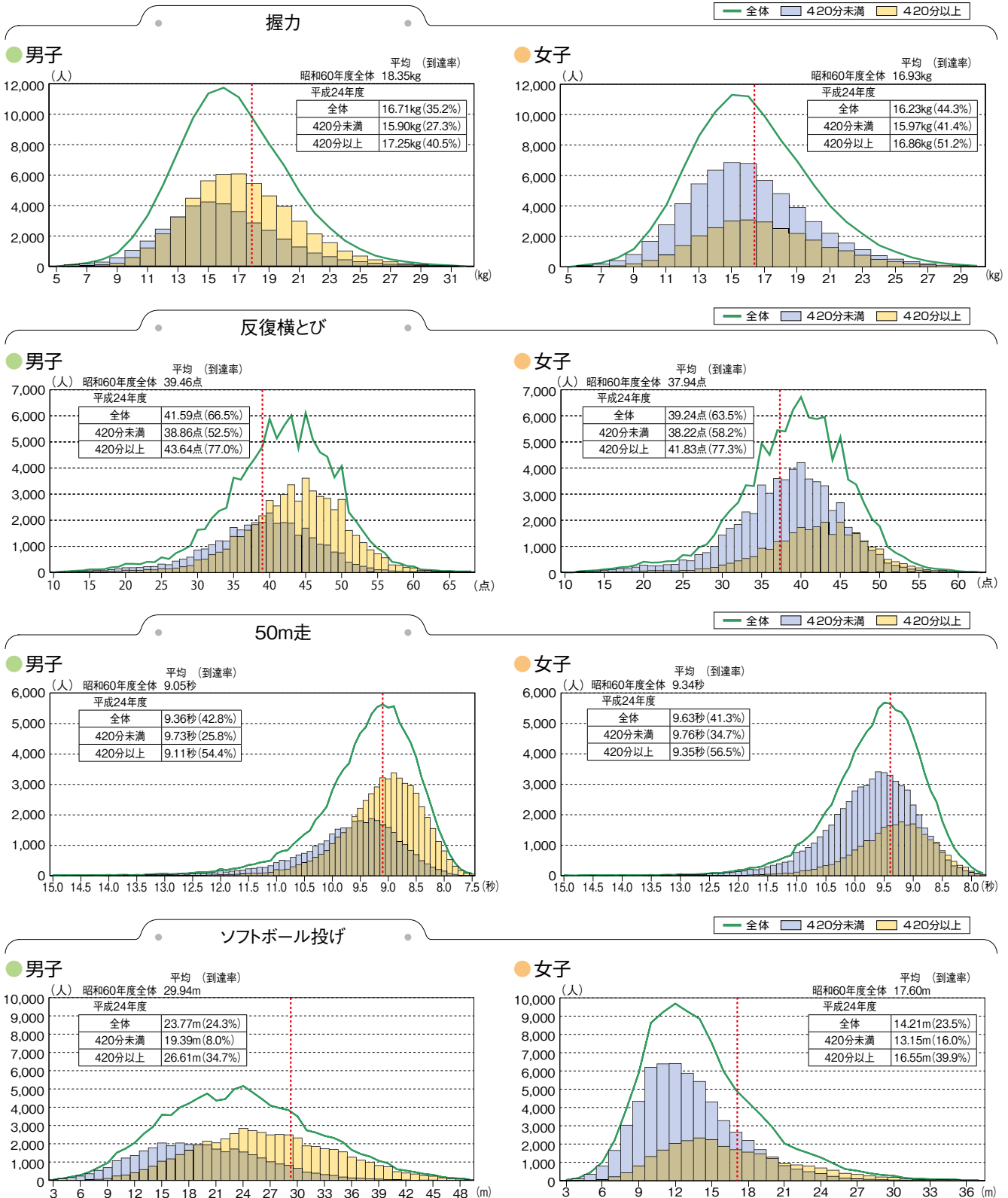


■ 1週間の総運動時間の算出方法

- ①平日の運動時間：時間帯別運動時間【質問12】を合計
- ②平日の運動日数：【質問5】の回答を次のように換算 (1=4日) (2=1.5日) (3=0.5日) (4=0.1日)
- ③平日の総運動時間：平日の運動時間①×平日の運動日数②
- ④土曜日の運動日数：【質問13-2】の回答を次のように換算 (1=0.25日) (2=0.5日) (3=0.75日) (4=1日)
- ⑤土曜日の総運動時間：土曜日の運動時間【質問13-3】×土曜日の運動日数④
- ⑥日曜日の運動日数：【質問14-2】の回答を次のように換算 (1=0.25日) (2=0.5日) (3=0.75日) (4=1日)
- ⑦日曜日の総運動時間：日曜日の運動時間【質問14-3】×日曜日の運動日数⑥
- ⑧1週間の総運動時間：平日の総運動時間③+土曜日の総運動時間⑤+日曜日の総運動時間⑦

- ①昭和60年度と比較可能な種目すべてにおいて、男女とも、1週間の総運動時間が420分以上の児童は、420分未満の児童に比べて、昭和60年度水準到達率（各種目の昭和60年度平均値に到達した児童の割合）が高かった。
- ②昭和60年度水準到達率が最も高かったのは反復横とびで、特に、1週間の総運動時間が420分以上の児童は、男子が77.0%、女子が77.3%であった。
- ③昭和60年度水準到達率が最も低かったのはソフトボール投げで、特に、1週間の総運動時間が420分未満の児童は、男子が8.0%、女子が16.0%であった。

※グラフ中の縦の点線は昭和60年度の平均値、表中の到達率は昭和60年度水準到達率。



2. 運動時間の少ない児童の特徴

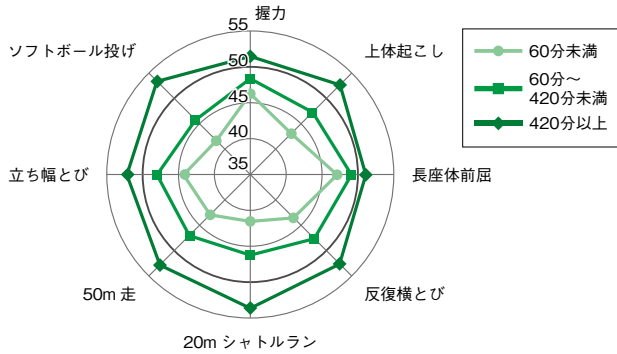
※児童のT得点(8ページ参照)や運動に対する意識等の回答の割合を1週間の総運動時間「60分未満」「60分以上420分未満」「420分以上」別に示し、それぞれを比較した。

1 1週間の総運動時間が60分未満の男子の特徴

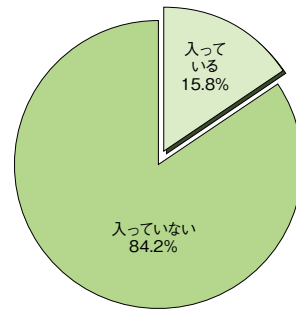
- ① T得点は、すべての種目で低く、握力、長座体前屈以外では大きな差がみられた。
- ② 運動部やスポーツクラブの所属率は、15.8%であった。
- ③ 「運動やスポーツをもっとしたいと思う」が20.1%であった。
- ④ 「運動やスポーツは体力をあげるために大切だと思う」が49.0%、「食事や睡眠時間の様子は体力をあげることに繋がっていると思う」が41.6%であった。
- ⑤ 土曜日、日曜日のいずれか、または両方で運動やスポーツをしている児童は18.7%であった。

小学校

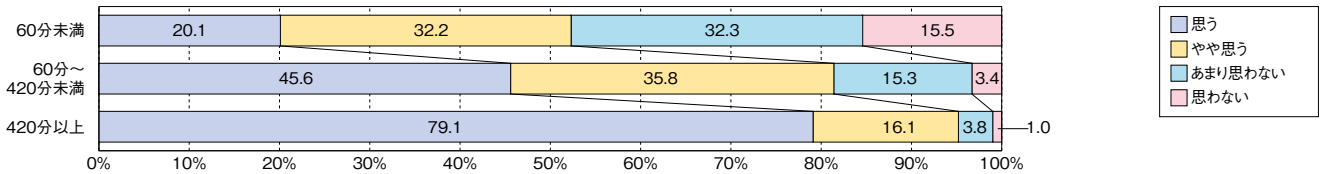
① 種目別T得点比較



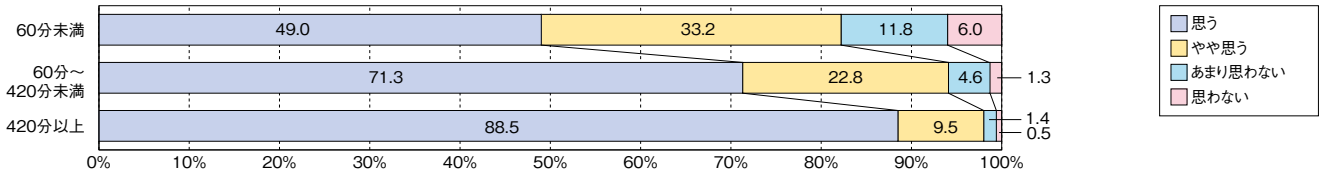
② 運動部やスポーツクラブの所属状況 (1週間の総運動時間が60分未満の児童)



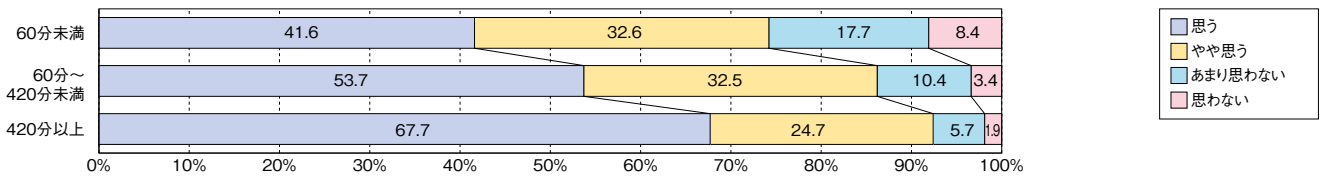
③ 運動やスポーツをもっとしたいと思う



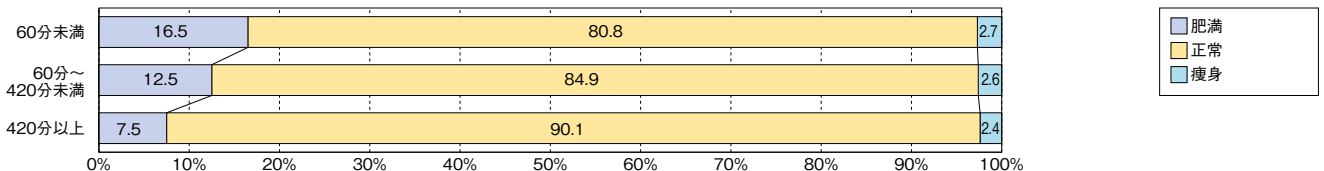
④ 運動やスポーツは体力をあげるために大切だと思う



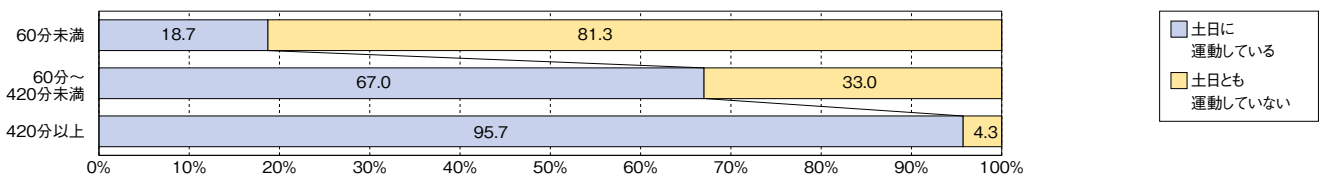
⑤ 食事や睡眠時間の様子は体力をあげることに繋がっていると思う



⑥ 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率



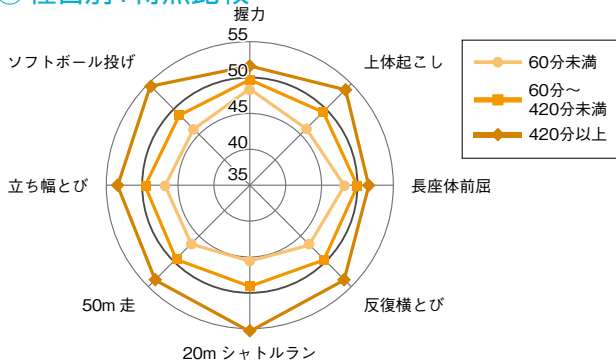
⑦ 土曜日、日曜日の運動状況



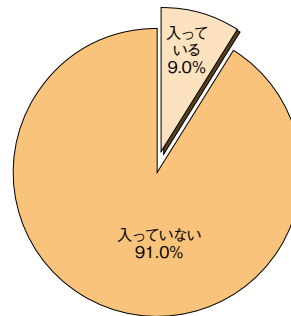
2 | 1週間の総運動時間が60分未満の女子の特徴

- ① T得点は、すべての種目で低く、握力、長座体前屈以外では大きな差がみられた。
- ② 運動部やスポーツクラブの所属率は、9.0%であった。
- ③ 「運動やスポーツをもっとしたいと思う」が21.4%であった。
- ④ 「運動やスポーツは体力をあげるために大切だと思う」が56.3%、「食事や睡眠時間の様子は体力をあげることに繋がっていると思う」が49.2%であった。
- ⑤ 土曜日、日曜日のいずれか、または両方で運動やスポーツをしている児童は18.8%であった。

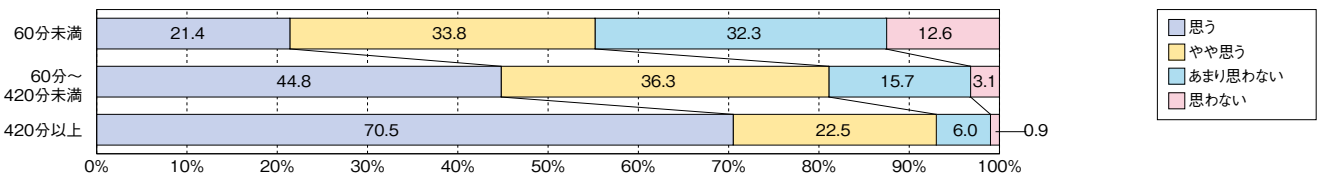
① 種目別T得点比較



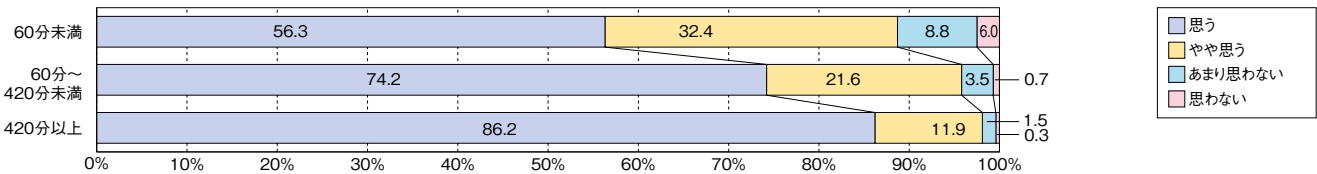
② 運動部やスポーツクラブの所属状況 (1週間の総運動時間が60分未満の児童)



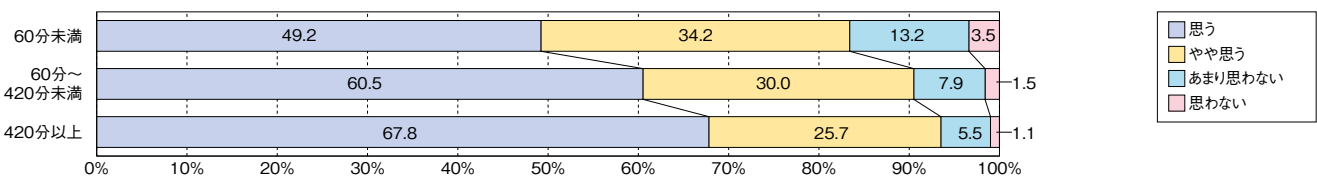
③ 運動やスポーツをもっとしたいと思う



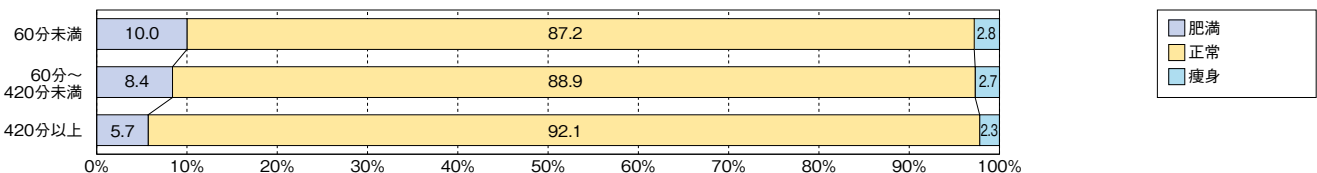
④ 運動やスポーツは体力をあげるために大切だと思う



⑤ 食事や睡眠時間の様子は体力をあげることに繋がっていると思う



⑥ 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率



⑦ 土曜日、日曜日の運動状況

